

がんばる中小企業を 応援中！

秋田県中小企業応援キャラクター
「がんばっけさん」



～企業の応援ツールが盛り沢山～

お問い合わせ先：秋田県産業労働部 産業政策課

〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1（県庁第2庁舎3階）

TEL. 018-860-2214 FAX. 018-860-3887

E-mail : sansei@pref.akita.lg.jp



高 興 な 田 舎
AKITAVISION

起業・創業

健康志向・ヘルシー志向のスープ専門店を開業

【あきた起業促進事業】

スープホリック
SOUPHOLIC
(秋田市・飲食業)



支援事業活用のきっかけ

料理人として海外も含め経験を積み、飲食店の開業が夢でしたが、起業に関する知識が全くありませんでした。商工会議所主催の起業塾への参加などがきっかけとなり、起業の第一歩を踏み出しました。

取組の内容

専門家のアドバイスを受けながら、事業計画や資金調達などの起業に関する様々な知識やビジネス感覚の習得に取り組みました。これらにより、

起業を理想の形にすることができ、起業に向けて確固たる自信がつかまりました。

取組の成果

起業内容が評価され、事業資金は自己資金要件が求められず、かつ低利で調達できました。また、あきたビジネスプランコンテストでは、優秀賞を受賞することができました。今後も新たなメニューづくりに取組み、お客さまに提供していきたいです。

新商品等開発

UVプリンターの導入による新たなサービスの提案と販売強化

【がんばる中小企業 応援事業】

株式会社かねひろ
(秋田市・包装資材卸小売業)



支援事業活用のきっかけ

包装資材の販売に加えて、商品やパッケージの企画開発からブランディング、生産加工、販路支援を手掛ける会社を目指していました。新しい発想によるパッケージ等を開発するため、事業を活用して、様々な素材に印刷できるUVプリンターを導入することとしました。

取組の内容

UVプリンターの導入は秋田県では第一号となります。包装資材に限らず、店舗のディスプレイやギフト

関連商品なども、短時間で完成品に近い形で試作品を作成できるため、顧客に対しては説得力のある企画提案ができました。

取組の成果

展示会でデモンストレーションを実施し、UVプリンターで製作したパッケージ等のPRを行い、新たな取り引きにつながりました。現在、取引開始に向けて数十社と商談を進めていますが、今後も試作品等のPRを重ね、受注の拡大につなげていきます。

課題解決

下請依存体質からの脱却を目指した自社オリジナル製品のブランド化

【専門家相談事業】

大同衣料株式会社
(大仙市・繊維工業)



支援事業活用のきっかけ

市場の縮小などにより、新たなビジネスモデルの確立が課題となっていました。下請け依存体質から自ら作り売る「製販一体型事業」に転換するため、専門家の派遣を依頼しました。

取組の内容

専門家のアドバイスのもと、月1回の支援会議を軸に、現状の経営分析と経営戦略の策定などを行い、下請依存からの脱却に向けて、自社製

品のブランディングとマーケティングの強化に取り組みました。

取組の成果

自社ブランドの具体的なブランド戦略を策定し、専用ホームページや全国初のオーダーメイドスーツ販売車（テラーメイドカー）の活用、コンセプトショップのオープンなどにより、営業販売活動が強化されました。今後もメイドイン秋田にこだわったブランド展開を図っていきます。

未来への技能・技術の継承と従業員の雇用維持

〔事業承継推進事業〕

有限会社高和製作所

(秋田市・椅子張り・製作・修理業)

支援事業活用のきっかけ

これまで培った椅子張りの技能や高度な技能をもつ人材を承継したいと考えていましたが、会社を引き継いでくれる後継者がおらず、将来に不安を抱えていました。事業承継相談推進員や事業引継ぎ支援センターの支援を受け、後継者問題の解決に至りました。

取組の内容

事業引継ぎ支援センターからは、事業承継の実務手続き、留意点等のアドバイスを受けました。また、専門家として弁護士の派遣を受け、事業譲渡契約の理解を深めながら、事業承継に向けた手続きを進めました。

取組の成果

長年、後継者の不在に悩んでいましたが、事業承継相談推進員の訪問をきっかけにM&Aによる事

業承継が完了し、優れた技術と従業員の雇用の維持を図ることができました。技術を次世代に伝承していくため、今後も若手の育成に取り組んでいきます。



作業工程の見直しによる作業時間の短縮と原価低減

〔食品事業者生産性向上支援事業〕

株式会社金森水産

(秋田市・水産加工業)

支援事業活用のきっかけ

ピーク時は残業を行っても生産が追いつかないケースがありました。また、県外への販路拡大を図るためには、運送費などの負担が大きく、なお一層の原価低減が急務だったため、事業を活用し、作業の効率化を図ることとしました。

取組の内容

アドバイザーの指導のもと、場所が離れていた作業台と開き加工マシンの配置を近接させるとともに、水流を活用して製品を次の工程へ流すなどの作業工程の改善を行いました。また、ハタハタの成形に使用するハサミを置く台を設置し、定位置で使用するよう改善しました。

取組の成果

改善の結果、停滞品の減少や運搬作業が軽減され、作業時間を26%短縮することができたほか、作業者

ごとにバラツキのあった作業方法を統一することができました。作業者の意識も向上しており、改善で取り組んだ工程のさらなる効率化に向けて、引き続き取り組んでいきます。



不良率の低減による品質の向上と受注の拡大

〔専門家相談事業〕

日貿産業株式会社

(横手市・繊維工業)

支援事業活用のきっかけ

主力のコート・ジャケットの製造では250~350の工程があり、作業者の個人差により、品質のバラつきや不良率に差がありました。こうした不良率の低減を図るため、専門家の派遣を依頼しました。

取組の内容

長年縫製工場の経営に携わり、培われた技術・品質管理に基づき全国各地の縫製工場を指導した実績のある専門家を招き、実技を通じた実践的指導のもと、不良率の低減による生産性の向上に取り組みました。

取組の成果

完成品をイメージした作業や管理者の見回り・チェックの強化により、不良率は5.5%減少し、生産数も1

日あたり15着増加しました。品質の向上により新たな取引先からの問い合わせも増加しており、今後も技術の向上により作業の質を上げていきます。



販路開拓

顧客ニーズに応じた移動販売業務の拡充と効率化

〔小規模事業者 持続化補助金〕

柳沢鮮魚店
(鹿角市・飲食料品小売業)



支援事業活用のきっかけ

高齢者世帯を主な顧客に食料品(鮮魚)の移動販売を行っていますが、最近は商品選びにも変化が見られ、簡単にすぐ食べられるものや日用品が求められるようになりました。そうしたニーズに応えるため、事業を活用して、販売品目の拡充と業務の効率化を図ることとしました。

取組の内容

新たに移動販売車を購入して、組み替え可能な商品棚の設置や2系統

の給電設備により商品の温度管理の徹底を図りました。また、日用品の取扱をお知らせするチラシの作成・配布を行いました。

取組の成果

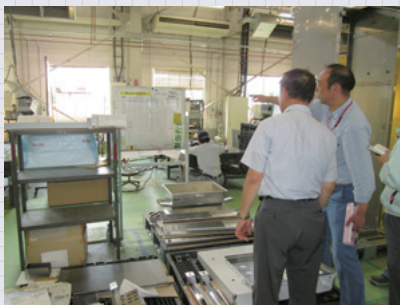
新車両の導入により、商品の積み下ろしに要する時間が短縮され、巡回回数も1日1回から2回が可能となりました。また要望の高かった日用品も仕入れ、顧客満足度も向上しました。今後も買い物に不自由な方の足になれるよう事業を継続していきます。

工程改善

生産方法の見直しによる作業時間の短縮と不良品の減少

〔生産性向上支援事業〕

株式会社高瀬電設
(湯沢市・金属製品製造業)



支援事業活用のきっかけ

本社工場を新設し、新たな一歩を踏み出そうとした矢先、東日本大震災が発生し、受注が半減。創業以来最大の危機を乗り越えるため、アドバイザーの指導のもと、無駄の多かった生産方法を見直すこととしました。

取組の内容

アドバイザー(トヨタ自動車OB)の指導のもと、大物と中小物の製品が上手に流れるよう生産計画を作成し、工場内の機械の配置も

変更しました。5S運動を徹底し、塗装工程における異物付着等の不良対策も実施しました。

取組の成果

生産方式の改善により、大物製品の板金加工に係る材料を投入してから完成品に至るまでの作業時間が、10.4日短縮しました。また、塗装工程の不良が、1ヶ月あたり90件減少しました。今後もさらなる生産方式の改善を図っていきます。

商店街振興

能代逸品会運動で個店及び商店街を活性化

〔商業活性化・まちづくり支援事業〕

能代逸品会
(能代市)



支援事業活用のきっかけ

商店街にある多くの個店が、自店の商品の魅力を情報発信するノウハウ等を持ち合わせていませんでした。市内外へ魅力を情報発信し、個店及び商店街の活性化につなげるため、個店同士の連携による「逸品会運動」を実施するに至りました。

取組の内容

「我が店のオススメの(一品)逸品」を、逸品会参加店主のディスカッションで決定し、「逸品チラシ」を発行して市内外へ情報発信しま

した。また、定期的に「逸品デー」及び「お店巡り」を開催し、店主と個店の魅力やオススメ商品のPRを行いました。

取組の成果

逸品のお披露目会「逸品フェア」には、約780人が来場し、中心市街地の賑わい創出を図りました。また、逸品デーやお店巡りの実施により、個店や商店街への誘客に結びつけることができました。今後も個店同士の連携を強化し、特色あるお店づくりに取り組んでいきます。

秋田県中小企業振興条例の概要

● 平成26年4月に施行された「秋田県中小企業振興条例」のもと、地域の経済や雇用を支える中小企業及び小規模事業者の取組を、県、中小企業支援団体、金融機関などが一体となり、オール秋田で支援しています。

基本的施策

基本的施策 2

— 新たな市場の開拓等 —

- 国内外における販路の開拓及び取引の拡大への支援
- 県産品の県内利用の拡大促進と受注機会の拡大
- 交流の拡大による事業展開への支援

基本的施策 6

— 人材の育成及び確保 —

- 学校教育における職業及び勤労に関する教育の充実
- 職業能力の開発・向上への支援
- 雇用に関する情報提供
- 雇用環境の整備の促進
- 女性と高齢者の能力の活用への促進

基本的施策 3

— 企業競争力の強化 —

- 生産性の向上支援
- 技術力の強化、製品・商品の高付加価値化への支援
- 設備投資の促進
- 企業間の連携の促進
- 産学官連携の強化

中小企業全体にかかる共通施策

基本的施策 1

— 経営基盤の強化 —

- 相談機能の強化
- 資金供給の円滑化
- 事業承継の円滑化

基本的施策 5

— 地域の特性に応じた事業活動の促進 —

- 地域資源を活用した商品の開発支援
- 技術の継承への支援
- 商店街の活性化支援
- 農商工連携等の促進

基本的施策 4

— 新たな事業の創出 —

- 事業の多角化・事業の転換への支援
- 創業の促進

推進体制



がんばる秋田の中小企業

県民

中小企業への
理解促進、協力

中小企業支援団体

連携・協力して中小企業を支援

金融機関
・大学等

市町村

○ 施策への意見・提案
○ 地域経済への貢献

県

- 施策の検証
- ニーズに合った施策の実施
- 施策のきめ細かな情報提供

主な相談窓口

●相談全般

支援機関名称	具体的な支援内容等
(公財) あきた企業活性化センター [(兼) 秋田県よろず支援拠点] (TEL 018-860-5610) http://www.bic-akita.or.jp/	起業、経営改善、売上拡大、販路開拓、取引拡大、販売戦略、広告戦略、産業デザイン、IT、知的財産権、人事・労務管理、人材育成、設備導入など
各商工会議所 (*連絡先は欄外参照) http://www.akitacci.or.jp/kenren/ 秋田県商工会連合会 (TEL 018-863-8491) 及びお近くの各商工会 http://www.skr-akita.or.jp/	中小企業の経営改善や記帳・決算申告、創業等に関する相談や指導、情報提供など
秋田県中小企業団体中央会 (TEL 018-863-8701) http://www.chuokai-akita.or.jp/	中小企業組合の組織、事業及び経営に関する相談・指導、官公需に関する支援など

(*) 各商工会議所の連絡先 秋田 (TEL 018-866-6677) 大館 (TEL 0186-43-3111) 能代 (TEL 0185-52-6341)
大曲 (TEL 0187-62-1262) 横手 (TEL 0182-32-1170) 湯沢 (TEL 0183-73-6111)

●事業承継

支援機関名称	具体的な支援内容等
秋田県事業引継ぎ支援センター (TEL 018-883-3551) http://akitacci.or.jp/hikitsugi/ 各商工会議所 (*連絡先は欄外参照) 秋田県商工会連合会 (TEL 018-863-8491) 及びお近くの各商工会 秋田県中小企業団体中央会 (TEL 018-863-8701)	中小企業の事業承継に関する相談、専門家の紹介、企業情報の集積、関係機関との連携など

●技術・研究

支援機関名称	具体的な支援内容等
【工業等】 秋田県産業技術センター (TEL 018-862-3414) http://www.rdc.pref.akita.jp/	工業製品等の製造・開発に関する技術相談、設備利用、受託研究、共同研究、人材育成など
【食品関連】 秋田県総合食品研究センター (TEL 018-888-2000) http://www.arif.pref.akita.jp/	農水畜産物の加工や利用、食品機能成分、発酵食品や微生物に関する技術相談や共同研究など
【木材関連】 (公財) 秋田県木材加工推進機構 (TEL 0185-52-7000) http://www.mokusui.jp/	木材利用・加工に関する技術相談、情報提供、性能試験の受託など
秋田大学 産学連携推進機構 (TEL 018-889-2712) http://www.akita-u.ac.jp/crc/	共同研究、受託研究、科学技術相談など
秋田県立大学 地域連携・研究推進センター 秋田キャンパス (TEL 018-872-1557) 本荘キャンパス (TEL 0184-27-2947) http://www.akita-pu.ac.jp/stic/index.htm	工学、バイオ・農学、木材等に関する技術相談、技術指導・助言、受託・共同研究、人材育成支援など
秋田工業高等専門学校 地域共同テクノセンター (TEL 018-847-6106) http://www.ipc.akita-nct.ac.jp/b08/b08_00.html	技術相談、共同研究、受託研究など
秋田産学官ネットワーク (TEL 018-889-3004) http://www.collabo-akita.net/	技術相談、研究者紹介、ビジネス相談、シーズ＝ニーズマッチング、適切な機関の紹介など

●海外展開

支援機関名称
(一社) 秋田県貿易促進協会 (TEL 018-896-7366) http://www.a-trade.or.jp/ 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 秋田貿易情報センター (TEL 018-865-8062) https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/akita/
具体的な支援内容等
海外及び県内での商談会開催、海外見本市参加支援、海外ミッション派遣、輸出販路開拓、海外進出先での支援、海外ビジネス情報の提供など

●信用保証

支援機関名称
秋田県信用保証協会 (TEL 018-863-9011) http://www.cgc-akita.or.jp/
具体的な支援内容等
中小企業が融資を申し込む際の保証に関する相談・審査や支援、経営支援など

●職業能力開発

支援機関名称
秋田県職業能力開発協会 (TEL 018-862-3510) http://www.akita-shokunou.org/
具体的な支援内容等
職業訓練・能力開発についての相談・指導・援助・情報提供、技能検定など